

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅳ				星 雅丈	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	2年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>当ゼミにおける主たるテーマは、これからの医療において、診療情報管理士を含む病院事務職に最も必要とされる「医療情報（データ）の分析技術」と、地域における「医療・介護・福祉の連携に資する情報の利活用法」を身につけることである。そして、3～4年次における個別テーマによる地域経営研究、卒業研究につなげる。</p> <p>特に文献購読やレジュメ作成の手法、アカデミックなプレゼンテーション技術は、研究活動の基礎となるものであり、個別課題を通じて身につけてもらう。そして、医療機関から取得したデータや公表されているデータの分析を、Excel、Access、Rなどのツールを用いて行う技術を体験する。</p> <p>なお、当ゼミでは病院への見学（地域の病院、もしくは大学病院）への見学も予定している。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究活動に資する知識と情報処理技術を修得し、データの性質や量によって適宜活用できる。</li> <li>2) 医療機関における各種情報の流れを理解し、情報の分析に適用できる。</li> <li>3) 研究報告を行うための文書作成や発表の技術を習得し、論理的な文章やスライドを作成できる。</li> </ol>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス： 演習の進め方と概要説明、レジュメ作成の文献提示				
第 2 回	書籍からのレジュメ作成： レジュメ作成の方法				
第 3 回	書籍からのレジュメ作成： 作成したレジュメを用いた校正・ディスカッション①				
第 4 回	書籍からのレジュメ作成： 作成したレジュメを用いた校正・ディスカッション②				
第 5 回	書籍からのレジュメ作成： 作成したレジュメを用いた校正・ディスカッション③				
第 6 回	文献抄読会①： 『Medical Informatics, e-Health: Fundamentals and Applications』				
第 7 回	文献抄読会②： 文献内容の発表とディスカッション				
第 8 回	文献抄読会③： 文献内容の発表とディスカッション				
第 9 回	病院見学の予備知識： 研究対象病院の概要と前提知識の講義				
第 10 回	病院見学： 北近畿地域の急性期型病院における業務・情報の流れ				
第 12 回	データベースの構造： テーブル構造、集合論とRDB、正規化、ER図				
第 13 回	データベースの操作： DBMS、SQL、データインポート・エクスポート				
第 14 回	大規模データを用いたデータ処理演習②： Rへのデータインポート、統計処理				
第 15 回	大規模データを用いたデータ処理の実践： Rによるネットワーク分析、結果の解釈				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>各回において提示される課題が講義時間内に終わらない場合は、各自自宅や自習室を利用して取り組むこと。また、当然ではあるが、与えられた発表課題やテーマについて、不明な場合は講義時間内や研究室を訪れて教員に質問すること。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講態度 (20%)</li> <li>・ 各回課題提出 (30%)</li> <li>・ 期末成果物 (50%)</li> </ul>	秀： 「授業の到達目標」を非常に高いレベルで満たしている 優： 「授業の到達目標」を高いレベルで満たしている 良： 「授業の到達目標」を十分に満たしている 可： 「授業の到達目標」を満たしている
テキスト (Textbook)	適宜、提示する。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	適宜、提示する。
備考 (Other Information)	与えられた課題は、まず自らの力で取り組むこと。苦手を他人任せにするのでは、自身を成長させることができない。将来、現場で役立つ知識や技術を身に付けていると、各自意識して積極的に取り組んでいただきたい。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	講義、学内会議、出張などにより研究室に不在であることも多いため、火急の際には下記の連絡手段によりアポを取ってください。 ・ Email： hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp ・ 携帯電話： 090-1616-8855 (Softbank, ショートメッセージ可)